

# 行政報告

令和4年第2回定例会

## 新型コロナウイルスワクチン3回目接種実施 鹿角産材を利用した木育推進 小・中学校の学習にタブレット端末を有効活用

令和4年第2回鹿角市議会定例会が2月25日から26日間の会期で開かれました。市長の行政報告の概要は次のとおりです。

### ■新型コロナウイルス感染症対策

感染力が高いとされるオミクロン株により、全国的に急速な感染拡大が続いています。大館保健所管内でも、複数のクラスターが発生し、累計で700人を超える感染が確認されています。

1月24日に、県が独自の感染警戒レベルを「3」に引き上げたことから、本市でも、まん延防止等重点措置区域との不要不急の往来や、不特定多数の飲食を伴う会食や長時間の飲食を避けるなど、感染リスクの回避について、市ホームページやメール配信サービス、コミュニティFMを通して呼び掛けています。また、臨時広報を発行し、家族が感染した場合や、自分が

濃厚接触者あるいは接触者となった場合の対応、感染の不安がある場合の無料検査情報の周知と併せ、感染者に対する差別的扱いや誹謗中傷の防止について注意を促しています。

### ■中心市街地の活性化

中心市街地に人の流れをつくる、取り組みの効果を持続させるとともに、都市機能の最大活用を図るため、新たな中心市街地活性化プランでは、「多世代が安心して暮らせるまちなか」と「人が行き交う訪れたいくなるまちなか」を基本方針に掲げ、まちなか居住の促進やまちなかエリアの魅力向上に取り組み、「コンパクトなまちづくり」を推進します。

### ■移住の促進

12月8日に、移住に関心のある子育て中のシングルマザーを対象とした、「雪国の暮らし方」オンライン相談会を開催し、4世帯の親子が参加しました。雪国の暮らしを紹介し、雪道の運転や除雪に対する不安など、相談会を通じて、雪国の生活に理解を深めてもらえる機会となりました。引き続き、個別の移住相談などを実施し、移住に向けた取り組みを進めます。

### ■住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金

2月8日から、対象となる住民税均等割非課税世帯3618世帯へ確認通知を送付している

ほか、家計が急変した「家計急変世帯」については、2月14日から申請受付を開始し、提出書類を受領後、1世帯当たり10万円を給付しています。

### ■新型コロナウイルスワクチン接種

3回目の接種は、1月24日から一般高齢者への接種を開始し、3月までは市内10カ所の医療機関で個別接種を実施し、4月以降は集団接種を併用して実施します。2月20日時点で、1回目接種を終えた方は2万5415人、2回目接種を終えた方は2万5265人、3回目接種を終えた方は6087人です。

感染の急拡大に伴い、国から

接種間隔の前倒しの指示を受け、本市でも高齢者への接種を7カ月に前倒しして実施しています。予約枠に余剰が生じた場合は、エッセンシャルワーカーへの接種を行い、ワクチンの有効活用と接種の加速化に努めました。引き続き、接種希望者が安心してワクチン接種ができるよう、きめ細かな周知に努めながら、関係機関と連携して接種を進めます。

### ■令和3年産の主食用米の作付け状況

生産の目安である1992ヘクタールに対し、作付け面積は、1987ヘクタールで生産の目安を達成し、本市全体の収穫量は1万1200トンでした。

令和4年産米の生産の目安については、全国的な米の需要に加え、在庫の動向や秋田県産米のシェア率などを勘案し、鹿角地域農業再生協議会では、令和3年産米と同様に飼料用米などへの作付転換によって需給バランスを保つこととし、昨年より2ヘクタール少ない1990ヘクタールと定め、JAなどに提示しています。

### ■木育の推進

幼少期から木材に親しみ、愛着や森林への理解を深めることを目的に、「木育推進ワークショップ」の企画団体などが、木の伐採から製品加工まで分担して、鹿角産材を利用した玩具を製作しました。今後、製品を増産し、市内の1歳6か月児健診の対象者に贈呈するほか、本市の特産品としてふるさと納税の返礼品にも提供することで、地場産材の魅力向上と需要の掘り起こしにつなげます。

### ■令和3年観光客数と宿泊客数

観光客数は約103万人で、前年比約16%の増、宿泊客数は約15万人で前年比約7%の減となりました。月別では、市独自の観光応援事業がスタートした6月は、前年同月比約200%の入込みとなったほか、10月以降は県内や近隣からの教育旅行の増加により、回復傾向が見られました。

### ■リモートワークの推進

まちなかオフィスにワーキングスペースを整備し、2月1

日から供用を開始しています。顔認証登録による入退場管理システムを導入したことにより、夜間や土日・祝日も利用可能になるため、多くの方に利用いただけるよう周知していきます。

### ■コロナ禍における経済・雇用対策

地域雇用維持支援金については、2月20日現在で11社に対し約303万円を交付し、689人の雇用の維持につながっています。また、昨年の夏から秋にかけての第5波の影響を受けた事業者に対する事業継続支援金では、159事業者を支援しています。

### ■ふるさとがの絆プラン事業

市内の小・中学校が、ボランティアガイド交流や農作物の収穫体験交流、伝統芸能の相互発表交流など、小・小連携や中・中連携を積極的に行いました。活動内容は、動画配信や文化の杜交流館コモッセでのパネル展示で発表としました。

### ■ICTを活用したGIGAスクール構想

各小・中学校では、学習活動のほか、日常の健康観察や臨時休業中のオンライン学習などでタブレット端末を活用しています。12月に行われた秋田県学習状況調査の結果では、本市における授業でのタブレット端末利用頻度は、小・中学校を合わせて42・9%で、全県平均の28・4%を大きく上回っています。特に中学2年生では、県平均26・4%に対し65・8%と、授業で頻繁に利用しています。引き続き、児童・生徒の情報活用能力を高められるよう、学習活動などで積極的に活用します。

### ■スポーツによる交流人口の拡大

第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会が2月17日から20日までの日程で、第95回全日本学生スキー選手権大会が2月23日から27日までの日程で開催されました。無観客やさまざまな感染症対策を講じた中での開催でしたが、熱戦が繰り広げられ、無事全日程を終了しました。

総務課 行政班 ☎30・0203



行政報告を行う市長



新型コロナウイルス感染症対策臨時広報



木育推進ワークショップ



まちなかオフィスのワーキングスペース



ふるさとがの絆プラン事業活動発表のパネル展示



第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会